

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康推進課長 村下 伯	電話番号	0852-22-5248
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	原爆被爆者対策事業		
目的	(1) 対象	原爆被爆者及びその二世	
	(2) 意図	必要な療養や健康の保持ができるようにする	
事業概要	○助成事業・・・原爆被爆者の健康を保持するため、疾病にかかっている者等に対して、手当を支給する。		
	○健康診断事業・・・原爆被爆者等の健康を保持するため、被爆者及び二世に対して、健康診断を実施する。		
	○死没者慰霊事業・・・死没者の尊い犠牲を銘記するため、慰霊式典等を行う者に対して、経費の一部を補助する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 原爆被爆者健診受診率	目標値		60.6	60.6	60.6	60.6	%
		取組目標値						
	式・定義 前期の受診者数/受診対象者数(前年度末手帳所持者数-施設入所者数：7月末)	実績値	57.2					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	561,402	562,508
うち一般財源(千円)	10,016	28,791

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基じた現状)

○被爆者健康手帳所持者数(平成27年度末)：1,133人 うち、原爆手当受給者数：1,017人	○健康診断実施件数(平成27年度)：1,518件
○介護保険等利用被爆者助成件数(平成27年度)：3,877件	
○死没者慰霊式典(平成27年度)：10月15日開催	

6. 成果があったこと(改善されたこと)

健康診断の個別通知や受診結果の把握に努めた結果、健康診断の実施件数が前年度1,301件から1,518件に増加している。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
被爆者への健康診断等の情報の伝達や、医療機関への受診が難しくなっている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
被爆者の高齢化や独居化が進んでいる。
- ③原因を解消するための「課題」
高齢及び独居の方ほど、より手厚い支援が必要であるが、対象者の高齢化・独居化が進んでいるため、検診受診状況の把握が難しくなっている。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

事務全体の効率化を促し、機会を捉えて、本人はもとより医療機関や介護事業者へ助成制度等の周知を図る。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。